

絹綿交織を活用した 日用品向け生地の開発 と海外展開

肌触りが良く、機能性に優れた生地の開発や寝具製品の開発・販売や「両毛シルクワールド研究会」などの海外販路開拓の取組みで地域に貢献。

所在地：栃木県足利市西宮町 2833
TEL 0284-21-7341
FAX 0284-21-7342
URL：<http://www8.ocn.ne.jp/~yabos45/2015.html>

代表取締役 小池 隆
設立：1905年(明治38年)
資本金：600万円
従業員数：3名



機能性に優れた生地の開発や寝具製品の開発・販売を意欲的に実施

同社は、両毛産地（繊維産地）において、生地の染色・整理加工等を行っている。両毛産地に伝わる絹織物や絹綿織物（絹糸と綿糸を組み合わせた交織）を活用し、現代の生活様式に合わせた日用品（寝具等）に使用する生地の開発等を行っている。

両毛産地に伝わる絹織物や絹綿織物等を日用品等に幅広く展開するため、自社の強みである生地の整理加工技術を基本に、産地の生地メーカーや地域の大学等と協力している。絹と綿の天然繊維に独自の加工を施して肌触りが良く、機能性に優れた生地の開発や寝具製品の開発・販売を意欲的に実施している。



海外のニーズに迅速かつ、きめ細かに対応

両毛産地に伝わる繊維技術を守り、産地企業が生き残っていくための方策として、産地の企業とともに「両毛シルクワールド研究会」を立ち上げ、欧州を中心とした海外への販路開拓の取組みを積極的に行っている。製品開発に当たっては、複合繊維産地である両毛産地の利点を十分に活かし、産地の持つ技術やノウハウを集約させ、海外のニーズに迅速かつ、きめ細かく対応するための体制を構築しており、既に複数の欧州企業との取引が成立している。



両毛産地の知名度向上と雇用環境改善

新商品の開発や「両毛シルクワールド研究会」などの取組みの成果は、確実に両毛産地の持つ技術力や対応力の高さ等、両毛産地の知名度向上に繋がるものであり、産地の新たな活路策として、他の企業を刺激・浸透し産地全体の活性化にも繋がっている。

また、雇用環境改善等に向けた取組みを着実に進めている。

